

## 森りょうじ リポート。(66号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

## ■平成25年第3回定例会ダイジェスト

会期中(9/6～10/8)に消費増税が決定されたことで追加議案(増税による増額補正予算)が提出されるなど、慌ただしい議会となりました。ただ流山市は改革派議会(日経ランキング全国1位)として、議員一丸となって迅速に対応できる組織力があります。政策に関する議論の激しさは日常茶飯事ですが、改革トップランナーの理由はこのような点にあると思います。

## ■23,482人の市民の想い。

新総合体育館建替え事業に関して、23,482人の市民の署名を付した「早期建設を求める陳情書」が議会に提出されました。耐震基準を満たしていないことや大規模災害時の防災拠点としても必要な事業です。

一方、多額の建設費(50億円超)を伴うことから多くの議論がありました。ただし過去最高となった署名数(=市民の皆様の想い)を議会としてしっかりと受け止めた結果(採択)となりました。

## ■最近の陳情・相談(7～9月)※一例です。

- ① 交通安全対策の相談(速度規制、信号設置など)
- ② 自治会の防災取り組みへの支援策
- ③ 市内産業・農業活性化についてのご提案
- ④ 公園や街路樹の剪定依頼…ほか多数



# 森りょうじ

森が動く。



## 流山市議会議員

駅活動は11年目を迎えました。その間にはつくばエクスプレス開通があり、市内に2駅増えました。また今年7月からの運河駅の橋上駅舎化により、活動場所が新たに1ヶ所増えました。

過去の駅頭活動を通じては沢山の出会いがあり、多くを学ばせて頂きました。人が集まるところには出会いがあり、声がありますね。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

## ○1976年6月12日流山生まれ(37歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味: 政治(人と語る・駅頭)・読書・コミュニケーション

体型: 身長159.5cm・体重53.5kg

後援会事務所: 流山市中野久木559-2

討議資料

## 一般質問①

【皆さんが思い描く“流山の姿”は？】

「都心から一番近い森のまち」へ。

現代の民間企業では当然のようにあるキャッチコピー（C I）。では流山市のものをご存知ですか？答えは「都心から一番近い森のまち」です。これは、流山市まちづくりの基本方針となる後期基本計画（平成 22～31 年度の方針）に位置付けられています。

既に住み続けている皆様にとっては様々な意見もあるコピーかも知れませんが、一方で市外から転入されてくる2割程度の方々はこのコピーを認識しているようです。つまり、市外の方には“流山市=都心から一番近い森のまち”のイメージが浸透しつつあるわけです。

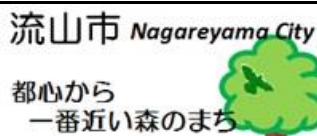


【SNS 用の公式 CI】

## 郷土愛にも繋がる、C I 戦略を。

C I（コーポレートアイデンティティ）のもう一つの特徴は「組織をパッと見で判断できるようにするもの」、簡単に言うとシンボルマークやロゴタイプ等です。例えばコンビニやファミレスのロゴは見知らぬ土地に言っても、直ぐに存在が分かります。そのような手法を自治体にも応用する流れは 30 年前からありました。

では皆さんにとって“流山市のイメージ”はどうでしょう？実は現時点で市章以外に公式のロゴ等はなく、下図のC Iを見ても知らない方が多いと思います。結果として前述のコピーに関しても市民の間に定着していない、というのが実態です。また使用中のロゴのデザイン・字体・配色に関しても統一規定はないですし、同時にコピーに負けない施策をしっかりと実行していくことも必要です。質問では市民への浸透策、C Iの管理や全体計画（戦略）の策定を求めたところ、部長から意欲的な答弁がありました。今後の取り組みに期待します。



【庁内で使用中の CI の一例】

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 一般質問②

【ネット選挙解禁を終えて】

6 月議会でも通告した項目ですが、参議院選挙の結果を踏まえて再度質問をしました。

既にご承知かと思いますが、7 月実施の国政選挙から選挙期間中（公示日から投票日までの期間）に候補者や支援者はインターネットを使った選挙活動を展開できます。これは新しい選挙文化の到来と言われており、アメリカや韓国などネット先進国では定着しています。一方、7 月の選挙では投票率は愚か、投票の参考にしたという点についても期待した効果とかけ離れたものとなりました。

質問の中では、次に流山市で実施される平成 27 年 4 月統一選挙までに、このネット選挙を普及させていくための施策を提言。切り口としては、市民参加型で選挙自体を作り上げる仕組み作りと ICT の積極的な活用、教育内容にもネット選挙を経験する仕組み、行政広報との連携やネット技術の応用などの内容に対し、選挙管理委員会局長は前向きに取り組んでいきたいとの答弁でした。



【案：市サイトに選挙コーナーを】  
（例：点線箇所「選挙中！など」）

## 一般質問③

【新しいコミュニティの挑戦に力を！】

近年の流山市内の自治会加入率は 70%前後です。一方、現代の市政においては高齢者福祉、防犯や防災、まちづくりなどの点で、自治会の協力なくしては成り立たない事業も数多く出てきています。本当に心強いものがあります。

ただ、市街化区域外の地域課題については自治会では目が行き届かず、課題が放置されがち。そこで新たな組織として小学校区単位のまちづくり協議会に期待が寄せられています。

今回は新川耕地周辺道路の安全対策を求める相談を受けた中での質問であり、警察への強い要望と協議会への継続的支援を求めました。

【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp